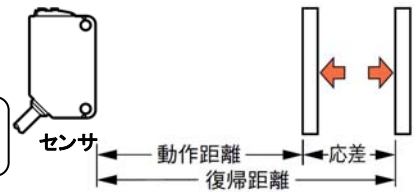


【動作距離】

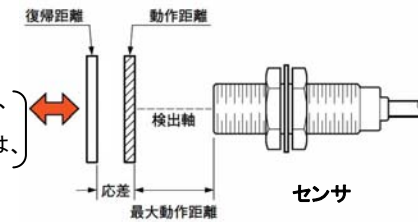
■ 動作距離とは？

- ・反射型光電センサにおいて、センサに対し、標準検出物体を検出軸方向から近づけ、初めて入光動作する距離のことを動作距離と言います。  
〔 入光動作：動作設定により異なり、Light-ONIにした場合はON、Dark-ONIにした場合は、OFFとなる。  
非入光動作：動作設定により異なり、Light-ONIにした場合はOFF、Dark-ONIにした場合は、ONとなる。〕



- ・近接センサにおいて、標準検出物体を検出軸方向から近づけ、初めて接近時動作する距離のことを動作距離と言います。

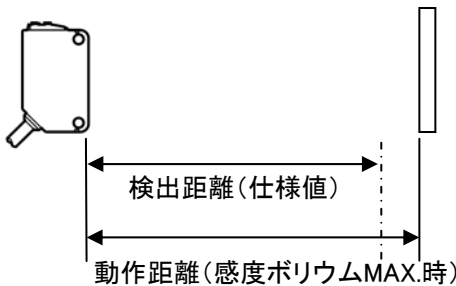
〔 接近時動作：出力動作により異なり、接近時ONの機種の場合はON、離れてONの機種の場合は、OFFとなる。  
離れた時の動作：出力動作により異なり、接近時ONの機種の場合はOFF、離れてONの機種の場合は、ONとなる。〕



■ 動作距離のバラつきは？

- ・センサ個々のバラつきにより、動作距離はセンサにより多少異なります。  
バラつきの規定(範囲)は、反射型光電センサの場合、特にありませんが、感度ボリウムMAX.時の動作距離は、センサの仕様で規定されている検出距離を下回ることはありません。

《感度ボリウムMAX.》



種 類	透 過 型			ミラー反射型					拡散反射型				狭視界
	型 式 名	NPN出力	CX-411	CX-412	CX-413	偏光フィルタ付	長距離	CX-491	CX-493	CX-481	CX-483	CX-482	
項 目		PNP出力	CX-411-P	CX-412-P	CX-413-P			CX-491-P	CX-493-P	CX-481-P	CX-483-P	CX-482-P	
検 出 距 離			10m	15m	30m			3m(注2)	5m(注2)	50~500mm(注2)	50~1,000mm(注2)	0.1~2m(注2)	
応 差(ヒステリシス)													

(注3)：拡散反射型の検出距離および応差は、白色無光沢紙(200×200mm)に対する値です。

- ・近接センサにも動作距離のバラつきはあります。  
その規定(範囲)は、最大動作距離として仕様に表されることがあります。  
(詳しいことは、センサの用語解説No.70で解説します。)

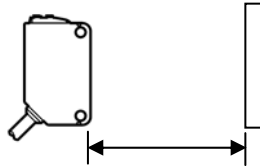
## ■ 動作距離は、感度調整によって変化する

- ・反射型光電センサの中には、感度ボリュームが装備され、感度調整が行なえる機種が多くあります。
- これらの機種では、感度調整により動作距離が変わります。

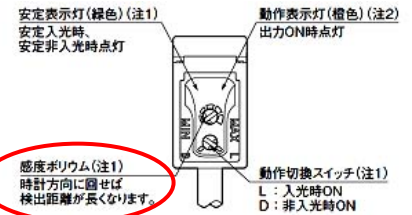
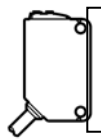
《感度ボリュームMAX.》



《感度ボリューム中間値》



《感度調整ボリュームMIN》



(注1): 透過型の投光器には、装備されていません。

(注2): 透過型の投光器は、電源表示灯(緑色、通電時点灯)になります。